



国際ロータリー第2610地区 「2025-26年度 会長エレクト研修セミナー」

オーランド国際協議会報告





マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ
ブラジル サンパウロ

印刷業界のビジネス・コンサルタント
弁護士

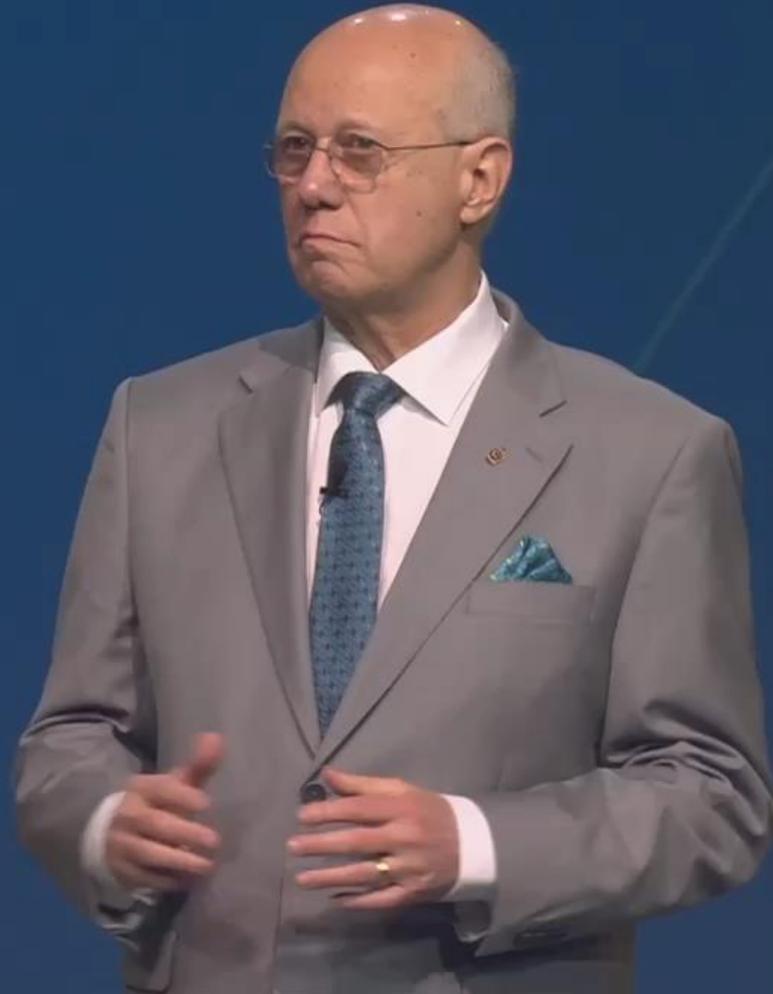
Santo Andoreロータリークラブ 23歳の時入会
ブラジル4人目のRI会長

ロータリー財団特別功労賞受賞

デニース夫人とともにメジャードナー

ロータリー財団ベネファクター





2025-26年度 RI会長 メッセージ
「よいことのために 手を取りあおう」
UNITE FOR GOOD



ロータリーの最大の**財産**は会員 「会員維持増強のための不可欠な3つの柱」

1. 革新

革新こそが、変化するこの世界に私たちが適応する手段

様々なクラブモデルの推進

衛星クラブ 分野特化型クラブ

関心特化型クラブ 言語特化型クラブ他



ロータリーの最大の**財産**は会員 「会員維持増強のための不可欠な3つの柱」

2. **継続性**



継続性とは画一性ではなく**連携**
地区リーダー同士の**連携**



ロータリーの最大の**財産**は会員 「会員維持増強のための不可欠な3つの柱」

3. パートナーシップ



事業者団体・専門職団体・学術機関などとの**協力**
新会員を増やすことができる
世界でよいことをするロータリーの力を**拡大**できる

☆行動計画＝ロータリーの向かう方向(指標)

ロータリービジョン声明

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化をうむために、人々が手を取りあって行動する世界を目指しています。」・・・4つの優先事項

より大きな
**インパクトを
もたらす**

参加者の
基盤を広げる

参加者の
**積極的な
かかわりを促す**

**適応力を
高める**

マリオ次期RI会長との懇談・スピーチより

1. DREAM(夢) 夢を持つことの大切さ



2. CONNECT(つながり) 1人ひとりが社会の一部として存在していることを大切に

(1) 日本の「和(なごみ)」「絆」との共通点

(2) 水面に落ちた石が波紋を生むイメージ

小さな行動が次第に大きく広がっていくように



3. PLAN (計画) ゴールをしっかりと見定めることの大切さ

1年で目的・目標を果たすことは、なかなか難しい。3年間という期限を設定して、行動計画を推進することが必要



4.ACT(行動) だれかから言われたのではなくて、あなた自身の自発的な行動こそがあなたを語っている＝世界を変える行動人



5. FAILED (失敗) 成功は終わりではなく、失敗は致命的ではありません。大切なのは失敗を恐れず、続ける勇気



6. RECOGNIZE & APOLOGIES (認識 と謝罪)

人を褒めるときはみんなの前で、間
違いを正すときは本人だけにの姿勢



7. TAKE RESPONSIBILITY (責任を取る) 1年の成果・結果に責任を持ち、 次年度につなげる。

「ロータリーが私たちににとって何を意味するにせよ、世界はその活動成果によってロータリーを知るのです」
ポール・ハリス

1 8. HAVE FUN (ロータリーを楽しむ)

金銭を伴わない最大の報酬は「楽しみ」である。会員みんなで、敬意と感謝の気持ちをもって成し遂げる「楽しみ」である



1. クラブを**支援**すること

2. クラブを**激励**すること

3. **事業活動への参加を促すこと**

☆クラブの皆さんの心に灯りを
ともすお手伝いならできる



国際ロータリー第2610地区
2025-2026年 地区運営基本方針

1. 地区テーマ



よいことのために手を取りあおう

『みんなで参加しよう みんなで行動しよう』



2. 基本方針

『2610地区 全会員の積極的・継続的な
参加を促す(みんなで)』

3. 3年間の地区目標

『だれもが笑顔でいごこちの良いクラブ』

4. 地区・クラブの向かう方向＝行動計画（4つの優先項目）

○行動計画推進に向けて当面3年間の目標を立てましょう

1) 計画的な**会員増強**と会員の**帰属意識**を高める

衛星クラブなど新しいクラブへの挑戦 ローターアクトクラブ拡大
例会・事業活動。親睦活動など**すべての活動にDEI**の意識

2) 工夫を凝らした**継続事業**の推進（財団補助金の利活用）

大きな**インパクト**をもたらす事業活動

ローターアクト・インターアクトクラブとの共同事業

3) 計画的な**クラブリーダー**の育成

RLI研修会への積極的な参加と**ラーニング**の実践

4) クラブの**強み**を伸ばす **弱み**を改善する

クラブの現状把握からスタート





5) 地域の存在価値を高める**新事業**への挑戦

公共のイメージアップと参加者の基盤を広げる実践

6) クラブ運営面の見直し

7) 能登半島地震・豪雨災害復興への計画的な支援活動

○運営組織をクラブ内に位置づけていきましょう

1) 地区行動計画推進リーダー他14名の委員を選任

4つの優先事項に沿って3年間の具体的な
数値目標を立てる

地区13委員会が3年間の具体的な数値目標をたてて取り組む

2) クラブ行動計画推進リーダーを選任する

3年間の行動計画を推進する**運営組織**を立ち上げる

クラブ3年間の具体的な目標を立て**マイロータリー**に入力する

地区行動計画推進・危機管理委員会設立

○2025-2026年度 メンバー構成(15名)

地区行動計画推進リーダー

黒川伸一(パストガバナー)

地区行動計画推進・危機管理委員長

翠田章男(ガバナーエレクト)

副委員長

小山英一(ガバナー)

副委員長(行動計画推進担当)

神野正博(地区ラーニングファシリテーター)

副委員長(危機管理担当)

大橋聡司(直前ガバナー)

委員

北川善昭(ガバナーノミニー)

委員

高見恵子(ガバナー補佐 小松シティ)

委員

魚住晃一(ガバナー補佐 高岡北)

委員

諸江 隆(会員増強委員長 金沢香林坊)

委員

東出悦子(DEI委員長 富山)

委員

安川弘哲(国際青少年交換委員長 富山中)

委員

松崎秀規(米山記念奨学会委員長 金沢)

委員

柴田剛介(ロータリー財団委員長 金沢)

専門委員

柴田未来(弁護士・金沢百万石)

専門委員(外部)

松下由樹(コミュニケーショントレーナー)



2610地区 3年間の具体的な数値実績・見込み・目標

優先項目		実績・見込・目標		
		23-24実績	24-25見込	25-26目標
1	地区の会員数☆	2423	2520	2580
2	クラブの数	64	63	63
3	衛星クラブの数	1	1	1
4	女性会員の数(☆)	182	200	220
5	ローターアクトクラブの数	6	7	8
6	ローターアクトクラブの会員数を入力してください。	25	50	70
7	クラブ奉仕活動への参加人数☆	203,544	206,000	208,500
8	戦略計画のあるクラブの数☆	24	40	63
9	財団への寄付合計額(ドル)☆	276,501	378,000	387,000
10	ポリオプラスへの寄付合計額(ドル)☆	34,118	75,600	77,400
11	ベネファクターとなった個人・夫婦の数☆ ※遺言またはその他の遺産計画で財団恒久基金への寄付を通知する、もしくは恒久基金に1,000米ドル以上を寄付し、新たにベネファクターとなる個人・夫婦の数	1	3	3
12	DDFの残金(ドル)	11,013ドル	0	0



クラブ3年間の目標推進手順例

ロータリー行動計画(4つの優先事項)に基づいて
「だれもが笑顔でいごこちの良いクラブ」を実現するために

1. クラブ行動計画推進リーダーを確認しましょう(選任済)
2. クラブ行動計画運営組織を決めましょう(委員会など)
3. 3年間の目標入力と管理はクラブセントラルで行います
→クラブ目標サポートサイトへ入力
4. 6つの優先事項は必ず入力しましょう→重要7項目
5. まず、クラブの現状をみんなで確認しあいましょう
(クラブの強み・弱みなど ジャパンポータルサイト参考に)
6. クラブ3年間の目標を決め、具体的な3年間の計画を
立てましょう(地区の目標・地区委員会の目標を参考に)
7. 2025年5月17日(土)にクラブ行動計画推進リーダー
会議を開催する予定です。
8. クラブ目標サポートミーティング開催予定
 - (1) 3ヵ月に1度程度開催予定(毎回5日ごろ)
 - (2) クラブ会長(クラブ幹事・推進リーダーなど)と目標に対する
進捗状況を情報交換・共有する予定



2610地区能登半島地震・豪雨災害復興支援計画

1. 目的・具体的な支援策

(1) 被災クラブの支援



対象:石川第3・第4グループ 氷見RC 氷見中央RC

① 支援金の支給(被災クラブに対してクラブ活性化支援金支給)

石川第3・氷見・氷見中央 1人当たり100,000円×クラブ会員

石川第4・富来 1人当たり120,000円×クラブ会員

② RI人頭分担金の免除申請(継続)

③ クラブに寄り添った支援策(退会防止のための対応策)

④ 支援プロジェクトの実施

(地区補助金・グローバル補助金・災害救援補助金他)

2610地区能登半島地震・豪雨災害復興支援計画

1. 目的・具体的な支援策

(1) 被災会員の支援

対象: 支援が必要な被災会員全員

①地区人頭賦課金について協議→**納入再開**

②地区会合の登録費の減免協議

③メンタルヘルスケアなど個々の会員に寄り添った支援策



2610地区能登半島地震・豪雨災害復興支援計画

1. 目的・具体的な支援策

(1) 被災地の支援

①「希望の翼」奨学金事業の推進

(被災高校生の大学進学を応援) 120名(89名)・80名・60名」

②被災地大学生への支援事業 30名(13名)

③補助金を活用した復興プロジェクトの支援 6件

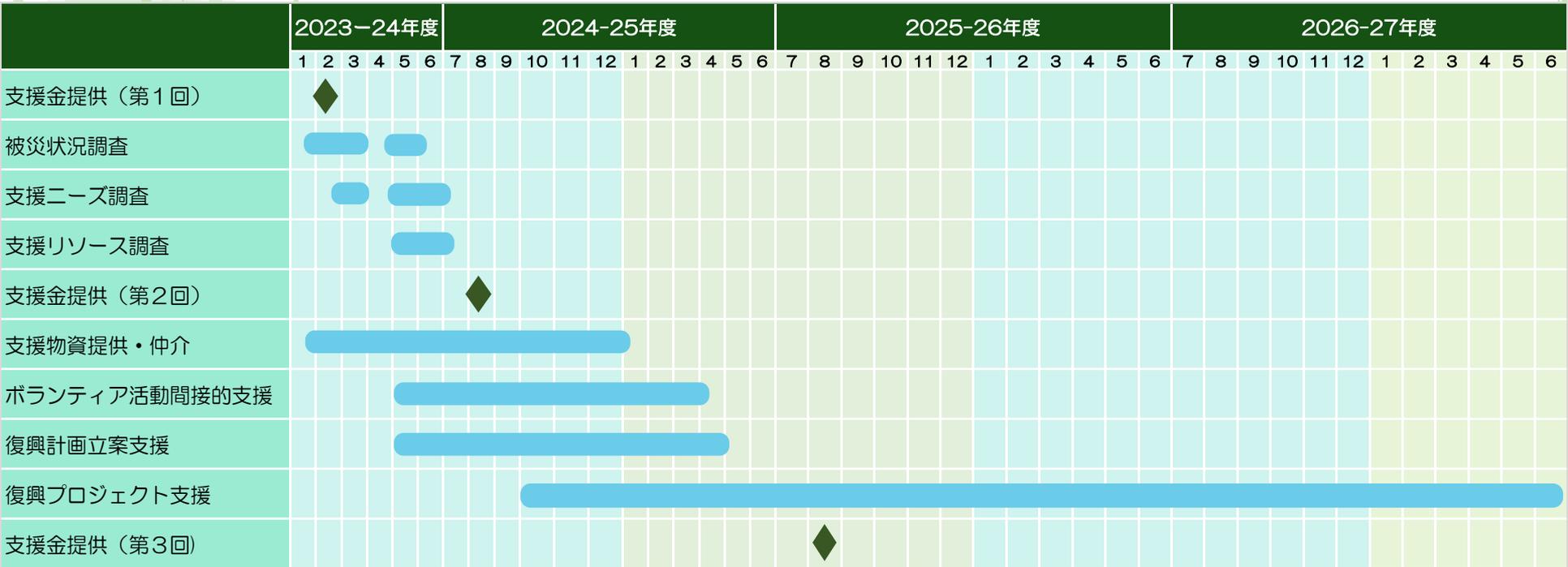
2025年2月～2026年6月総額8,000万円

④県社会福祉協議会との協定による災害ボランティア活動への協力

⑤輪島市・珠洲市・能登町・穴水町に支援金贈呈(大橋年度)



能登半島地震・豪雨災害復興支援スケジュール



「良いことのために手を取りあおう」 UNITE FOR GOOD

地区・クラブのポイント11

1. ローターリーを楽しみましょう
2. クラブ3年間の目標を立てましょう(継続性)
「クラブの強み」を伸ばしましょう
地区委員会も3年間の目標を立て事業を展開します
3. 63クラブ純増60名を達成しましょう
衛星クラブなど新クラブへの取り組み(革新)
ローターアクトクラブの新設
4. すべての活動にDEIの意識を大切にしましょう
5. 年次寄付目標 1人当たり 150ドル
6. ポリオ寄付目標 1人当たり 30ドル



「良いことのために手を取りあおう」 UNITE FOR GOOD

地区・クラブのポイント11



7. 米山奨学会寄付

普通寄付1人当たり 6,000円 特別寄付1人当たり 10,000円

米山奨学生新規お世話クラブ大歓迎

8. 「ラーニング」について学ぼう・実践しよう

RLIに参加しよう1回60名 RLIファシリテーター30名

9. YOUTH DAY 若者300人以上の参加

10. マイロータリー登録60%以上

11. 地域に根差した新事業に挑戦しましょう

事業職団体・専門職団体・学術機関などとの協力



皆さん

一緒にロータリーを楽しみましょう

「クラブのいごこちを大切に」

皆さんのリーダーシップが
強いクラブづくりにつながります





○「**チーム** 英ちゃん」



ロータリークラブ



2610地区 63クラブ 2,500名(2025年1月)

(小矢部みらい衛星クラブ 12名)

ローターアクトクラブ 7クラブ 63名

